



便り

楽々

高齢になり、ひとり暮らしは寂しく大変でしょうと問う人がいる。今のところ健康で、友人知人もいる。何より時間が自由、楽々暮らしている。でもこの先、10、20年先は不安である。その時は周りの人たちにお世話になります。よろしくね。

(名華女)

らくらく、スイスイ、ちよちよいのチョイ...跳び箱も自転車も暗算も楽々だった。その反面、失敗も多く痛い思いもした。楽々とやれる事を慎重、丁寧にすることは難しいものだ。ところが、楽々とやれないと慎重、丁寧に。これも悪くないと思う今日この頃の私です。(すみちゃん)

はあ...鏡を見てがっかりする。経年変化は認識しつつも、この劣化を遅らせるのは、手間とお金が必要なのよね!何気なく見ているSNSの広告で、「ひと塗りすれば楽々、〇〇できます!」と、いわれろ、ついポチッと押したくなる。(しばP)

「楽々」というとなぜか坂道が浮かんてくる。近頃は、上りは体力がきついが、下りは転びそうで怖い。勢いをつけて楽々と下りられた頃が懐かしい。人生はよく

△ハモン博士のまとめ

「楽々」という言葉には、楽しいという字が2つも続く。本当に苦労もなく軽々としたさまを表現する言葉じゃ。成長や訓練、慣れと共に楽々とできるようになることもあれば、加齢や運動能力の低下で楽々といえなくなることもやって来る。じゃが、気持ちだけならいつまでも楽々いられる。人生楽しく楽しくじゃ!



問合せ
大口町NPO登録団体ハモン
☎95-1691

うちの親はらくらくホンを使っている。必要な機能のみのスマホらしいが、こんなことがしたいと相談されても、隠れた機能を探し出してできるようにしないとダメだったりする。なんとも不自由極まりない。人が勧める「らくらく」は本当にそうなのか吟味する必要があると思う。

(俺)

坂道に例えられる。上ったり下ったりしながら、後半はゆっくりと余裕を持って下りて行かないよ、ということかな。楽々ばかりではないところが奥深い。転がり落ちないよう気を付けなにと。

(チャーミー)



No.78



町内にお住いの
20代の皆さんがリレーで登場!

資格取得に向け勉強中

篠原 義顕さん(下小口) H14・1月生



法学部3年生

在学中にさまざまな資格を

取りたいと思い、今年の春に危険物取扱者を受験し合格しました。父と弟が持っている資格なので興味を持ったのがきっかけです。次は授業で不動産関連の法律を学んでいるので、宅建士の試験に挑みます。試験も間近に迫り大学とアルバイトの隙間時間に勉強する日々です。その翌月には法学検定試験。法学部で培った知識を活かし、合格できるよう頑張ります。

資格の勉強を始めてから、学ぶことの面白さを実感するようになりました。独自の勉強法ですが、誰かに教えるような口調で声に出し頭に入れています。塾で講師のアルバイト

イトをしているのが役立っているのかもしれない。

資格取得のために深く学ぶことによって、自分と相性の良い分野を見極めることが出来たらと思っています。今後興味のある資格にトライしていきたいです。

趣味は鉄道旅

電車で揺られて景色を眺めているだけで楽しくて仕方がなかった小学生の頃、仲良し5人組と日帰りで京都や大阪に行った思い出があります。

大学生になった今は行動範囲も広がり、昨年は先輩と九州に2泊3日の鉄道旅へ。『ゆふいんの森』の車窓からみえる雄大な景色を満喫しました。



▲JR九州『ゆふいんの森』にて先輩と。